



会場は、町民とのふれあいやサークル同士が交流を深めるようすが見られました。

ふれあいと交流を深めました
日ごろの活動を町民の皆さんに見てもらおうと9月10日追分公民館で公民館まつりが開催されました。陶芸同好会や木彫り教室「くるみ会」のコーナーでは、一般の人も体験することができました。ロビーでは、フォークダンス同好会のメンバーが揃いのコスチュームを着てダンスを披露。2階の研修室では、子供向けの映画上映や人形劇の鑑賞会が行われました。



講習会で「AED」の操作方法を学習

9月4日と9日に普通救命講習会がスポーツセンターと安平支署追分出張所で開催され、総勢40名が受講し人工呼吸や心臓マッサージ法などを体験しました。

また、平成16年から一般の人も扱えることになった心臓に電気ショックを与える器具「AED」(写真円内)の操作項目も追加。講習を終えた方には「普通救命講習修了証」が交付されました。

安平支署では、10月1日より町内で開催の多くの町民が集まる各種イベント、講演会、スポーツ行事等を主催する団体などにAEDの貸し出しを始めました。スポーツにおける突然の心停止例は、ほとんどが屋外と言われていますが、3分以内にAEDが正しく使用できて心肺蘇生法を実施できれば救命率は飛躍的に向上します。

「貸し出しには一定の条件がありますので詳しくは、警防係(☎22 2074)までお気軽に問い合わせを」と呼びかけています。

幼稚園児が放水活動を体験
火事の恐ろしさを教え、火遊び防止を図るため追分幼稚園児38人が9月8日に消防署追分出張所を見学しました。職員から火災についての話を聞き、「火遊びは絶対にしない」ことを約束。その後、消防車や救急車の中を視察した園児たちはいろいろな計器類に驚いている様子でした。年長組の園児たちは、防火服を着て放水に挑戦。さまざまな見聞や体験を通して改めて防火について学びました。



故門馬正男さんに正七位・瑞宝単光章

門馬正男さん(故人)に対する正七位・瑞宝単光章の伝達式が8月28日に追分郵便局で行われました。

門馬さんは、昭和5年6月札幌郵便局を皮切りに昭和49年7月まで44年間郵政職員として勤務。その間、昭和33年6月に追分郵便局の局長代理に就任以来、現場の重責を担ってきました。退職後も旧追分町の固定資産評価委員や社会教育委員などを歴任し、町民に慕われ今年2月の閉町記念式典では永年在住者として表彰されました。



追分郵便局長から家族の方に伝達



身近な課題を行政に要望
日ごろ感じていることや町に対する要望などについて、町長と気軽に語り合う町政懇談会が9月26日から4日間、それぞれの会場で開催されました。参加した人は道路周辺の草刈や除雪の徹底をお願いしたり、合併してどのように変わったのかなどを質問していました。農村地域等は、農産物の収穫作業が落ち着く11月に行う予定です。